

第2回 尼崎市公共施設マネジメント市民会議（第2期）に係る議事録

日 時：平成28年4月21日（木）16時00分～17時35分

場 所：本庁舎北館4階 4-1会議室

出席委員：8人（欠席者なし）

傍聴者：なし

次 第：「第2回 尼崎市公共施設マネジメント市民会議（第2期） 次第」のとおり

- 1 組織変更に伴う事務局あいさつ
- 2 前回欠席の委員自己紹介
- 3 議題1「総合計画及び総合戦略等について」
まち咲きひと咲き推進部政策課による説明
- 4 その他

【議事（質疑）】 議題1「総合計画及び総合戦略等について」

司 会 それでは、議事に入らせていただきます。1つ目の議題の「総合計画及び総合戦略等について」でございます。

尼崎の総合計画は、人口減少や少子高齢化が見込まれる中、これらへの対応として、尼崎が目指すこれからの10年間の計画を平成25年度にまとめたものでございます。その中で、「尼崎版総合戦略」は総合計画をもとに「まち・ひと・しごと」の分野に絞ったアクションプランになります。

今後、公共施設等の方向性に係る意見を出していくためにも、尼崎市の基本的政策や考え方を理解しておくことは重要となります。今回、総合計画等について所管している職員に来ていただいておりますので、説明をよろしく申し上げます。

～まち咲きひと咲き推進部政策課による資料等の説明～

司 会 今回の事務局からの説明に対して、ご意見やご質問があればお願いしたい。

委 員 市として人口問題に取り組んでいるというのは分かったが、市職員は尼崎市民でない方も多く、そういった方に意見を聞けば参考になるのでないか。尼崎市で働きながら、市外に住み、尼崎市以外に住民税を払っているのはどうなのか。実態としてどの程度の割合が市外に住んでいるのか。一部自治体では職員が市内に住むことが決められているところもあると聞く。

事務局 正確には分からないが、市外居住の職員は半数ぐらいではないか。地方部では市内居住が多いが、尼崎も含め、都市部は住宅事情もあり、だいたい同じような状況と聞いている。また、尼崎市では広く優秀な人材を採る必要があるので、市内居住

者だけを採用するというはしていないと聞いている。

委員 人口の増について、大きく分けて自然増を目指すのと、転入等の流入による増がある。自然増については、働きやすい、子育てしやすいなどにより全国の自治体の取組・環境づくりでそれぞれ増えることは考えられる。ただ、流入による増については、一方が増えれば、他方は減るという構図である。尼崎だけでなく他の自治体も努力する。尼崎市も取組を進めているが、結果的に他の自治体のほうが魅力があり、尼崎市の流出のほうが多くなることは考えられるが、尼崎市として何か考えているのか。

事務局 実際に流入・流出があつてトータルマイナスになっているが、その中身を見ると流出の中心が、ファミリー層となっていることから、その構図を是正しなければならぬ。

本市の全体の計画は45年間であるが、一旦は5年の区切りとして進めており、5年ごとに取組状況や効果を見て一定の見直しをしていくこととしている。

委員 抽象的な意見になるが、尼崎市は知名度がまだまだ低く、そういったことも人口の減少に影響しているのではないか。マスコミを活用するなどにより知名度を上げることは人口増にもつながるのではないか。また、大学の誘致も大きな効果があるのではないか。

委員 10ページに生産年齢人口が半分というのは強調しすぎと感じる。また、12ページの未婚率は、いわゆる離婚や死別の人も含まれるのか。

事務局 少し、資料構成が分かりにくかったかもしれないが、10ページの資料は割合で表現しているが、人口は9ページを見ていただくと2010年28.9万人に対して、2060年は12.8万人と約半数になっている。また、未婚率は、結婚歴のない方のみで離婚されている方などは含まれていない。

委員 西宮市では、西宮市を好きな理由を聞いていたが、今回の資料では、尼崎市を嫌いな理由を聞いており、市内に残りたいという理由などを聞いていない。

事務局 アンケートをとっており、実際には、市外に移りたい理由だけを聞いている訳ではなく、前向きな質問もたくさんあるが、今回はその一部を資料に載せているものであり、全体はホームページなどで見ることでできるのでご参照いただきたい。

委員 合計特殊出生率のことであるが、私の出身地の友人は子供は2人、3人と産んでいる場合が多いが、尼崎市の周りでは、たくさん子供を産みたいという人が少ないと感じている。これは、尼崎には核家族が多く、両親から子育てのサポートを受けにくいことが原因の1つではないかと思う。そのため、例えば、子供の一時預かりなど子育てをサポートできる環境を充実させることが重要ではないか。

事務局 住宅事情も関係はあるのかもしれない。自治体によっては、家賃補助のようなものもあるようだが、尼崎市では財政的な事情などもあり、実施していない。そのような中で、指摘されている一時預かりなど子育て環境を充実させることは重要であると認識している。

委員 個人的には、尼崎については、こんなに住みやすいまちはないと思っている。しっかりアピールしていくことは重要だと思う。

事務局 市民のみなさまが、そのようにシビックプライドを持っていてくれれば、時間はかかるかもしれないがイメージも変わってくる。市としてもシティープロモーション

- ョンについては、組織としても整備し、しっかりと取り組んでいるところである。
- 司 会 西宮市や芦屋市で保護者の方と話す時、学区のことを言われる方が多い。中学校まではあまりこだわらなくても、公立校の場合、どの高校に行けるかというのは、市民にとって非常に大きな問題となり、ファミリー世帯の流出・転出に影響しているのではないか。
- 委 員 私は武庫之荘に住んでいるが、西宮北口方面に塾に通う小中学校生を多く見る。これを見ても教育環境の充実は大事だと思う。
- 司 会 教育については、学校教育と社会教育というものがあるが、例えば、学校教育施設がなくなれば、社会教育施設を活用し、社会教育施設がなくなれば、学校教育施設を活用していけばいいが、そもそも施設設置の考え方が違うので難しい問題もあるのではないか。
- 事務局 「学びと育ち」というテーマで考えていく必要があるが、子供に限らず、すべての世代を一体として考えていく必要がある。今実際に進んでいるものでは、聖トマス大学でそのような方向で調整されていると聞いている。
- 司 会 縦割りになっているものを横串で見えていかないと、合理化などをやっていくのは難しいであろう。
- 委 員 全国的に尼崎市の知名度は低いという話が出たが、近隣ではあまり良くないイメージが多いのではないか。実際に市民も自虐的に尼崎市を語る場合がある。
- 委 員 私自身は、尼崎市に住んで年数が浅いため、悪いというイメージはあまりない。
- 委 員 歴史的に見て、いつ頃から尼崎の良くないイメージが定着したのであるだろうか。
- 委 員 国道 43 号線の公害が尼崎のイメージを悪くしたのではないのだろうか。
- 委 員 尼崎のイメージを変えていくには、マイナスイメージをなくす方法を考えるだけでなく、プラスの部分をもっと前に出していくべきではないだろうか。広報の仕方をもっと効果的にしていくべきではないか。
- 委 員 尼崎の広報としては、市制 100 周年の広報については、市内はもちろん、市外に出てもよく見かけ、よく頑張っているイメージがある。
- 委 員 人口の増加、減少でいうと小田地区に、大型のマンションが多くできているが、アスベストなどの問題は大丈夫なのか。
- 事務局 大型マンションが多く建っている場所はキリンの跡地で、ここに限らず工場跡地については、自然由来も含め土壤汚染がある場合があるが、基本的には除去したうえで、マンションなどが誘致されているので問題ない。
- 委 員 資料に尼崎版総合戦略の具体的な施策が書かれているが、市民はどのような関わり方をしているのか。
- 事務局 総合戦略のアクションプランである総合計画については、市民委員などに参画してもらいながら作っている。今後、後期に向けても市民の方の協力を得ながら作っていくことになる。

以 上